

個別点検 1-2 デジタル多重無線通信装置(128QAM) 点検シート

点検記録簿(電子データ)の  
例

整備局名		点検年月日	
事務所名		点検周期	
設備名称	多重無線通信装置	天候	
装置名称	デジタル多重無線通信装置(128QAM)	点検事業者名	
呼称(当該装置を特定する名称等)		点検作業員名	
施設管理DB管理番号			

No	確認事項の概要	作業の実施範囲・具体的方法等	判定基準	単位	点検結果							
					今回		対象外	前回		前々回		
					調整前	調整後		調整前	調整後	調整前	調整後	
1	表示の確認	装置監視パネル表示等により各号機の障害表示の有無を目視確認する。	実施/確認	良・否 等								
2	送信出力確認	送信出力モニターにて、測定器により測定を行い、送信電力が指定電力±20%以内であることを確認する。 また、測定結果と自蔵計器指示値の照合を行う。 指定周波数:           MHz	実施/確認	良・否 等								
		1号機	測定値	±10×10 <sup>-6</sup> 以内 (±    kHz以内)	MHz	0						
			偏差		kHz	0						
		2号機	測定値		MHz	0						
	偏差	kHz	0									
3	送信周波数確認	送信出力モニターにて、測定器により測定を行い、指定値±10×10 <sup>-6</sup> 以内であることを確認する。 指定周波数:           MHz	実施/確認	良・否 等								
		1号機	測定値	±10×10 <sup>-6</sup> 以内 (±    kHz以内)	MHz	0						
			偏差		kHz	0						
		2号機	測定値		MHz	0						
	偏差	kHz	0									
4	送信波スペクトラム確認	送信モニター出力にて、測定器により擬似ランダムパターンで変調をかけた送信波の側帯波レベルを測定し、基準値以下であることを確認する。 6.5/7.5/12GHz帯 ①第1側帯波:-33dB以下   ②第2側帯波:-48dB以下	実施/確認	良・否 等								
		1号機	占有帯域幅	MHz以下	MHz	0						
			第1側帯波	Ft+   MHz	-33dB以下	dB	0					
				Ft-   MHz			0					
			第2側帯波	Ft+   MHz	-48dB以下	dB	0					
		Ft-   MHz		0								
		2号機	占有帯域幅	MHz以下	MHz	0						
			第1側帯波	Ft+   MHz	-33dB以下	dB	0					
Ft+   MHz	0											
第2側帯波	Ft+   MHz		-48dB以下	dB	0							
	Ft-   MHz	0										

No	確認事項の概要	作業の実施範囲・具体的方法等	判定基準	単位	点検結果						
					今回		対象外	前回		前々回	
					調整前	調整後		調整前	調整後	調整前	調整後
5	スプリアス輻射強度確認	送信モニタ出力にて、測定器により測定を行い、 $10\mu\text{W}(-49\text{dB})$ 以下であることを確認する。(fc:カロック周波数 MHz)	実施/確認	良・否 等							
		1号機	-50dB以下	dB	0						
		2号機			0						
6	受信部局部発振周波数確認	局部発振器モニタ出力等にて、測定器により測定を行い、指定値 $\pm 10 \times 10^{-6}$ 以内であることを確認する。 指定周波数: MHz	実施/確認	良・否 等							
		1号機	測定値	$\pm 10 \times 10^{-6}$ 以内 ( $\pm$ KHz以内)	MHz	0					
			偏差		KHz	0					
		2号機	測定値		MHz	0					
			偏差		KHz	0					
7	符号誤り率確認(自局折返し状態による)	自局折返し状態において受信BER規格入力時の符号誤り率が $10^{-4}$ 以下、また標準受信入力時の残留符号誤り率が $10^{-9}$ 以下であることを確認する。	実施/確認		良・否 等						
		1号機	受信BER規格 - dBm 入力時	$1 \times 10^{-4}$ 以下	エラー-bit数 時間*b/S	0					
			標準受信 - dBm 入力時	$1 \times 10^{-9}$ 以下		0					
		2号機	受信BER規格 - dBm 入力時	$1 \times 10^{-4}$ 以下		0					
			標準受信 - dBm 入力時	$1 \times 10^{-9}$ 以下		0					
8	受信入力校正カーブの測定	マイクロ波信号発生器を用いて受信入力構成カーブ(AGC校正カーブ)を取得し、前回データと大きな変化が無いことを確認する。	実施/確認	良・否 等							
9	無線中継区間符号誤り率の確認	6Mインターフェイスの場合: CRCチェックにより無線中継区間(対向または複数区間)の平均符号誤り率を測定する。	実施/確認	良・否 等							
		52Mインターフェイスの場合: BIP8チェックにより無線中継区間(対向または複数区間)の平均符号誤り率を測定する。 対象区間: ①全国1級回線無線区間 (本省~地方整備局、地方整備局~地方整備局) ②地方整備局管内の1級・準1級回線無線区間 (地方整備局~事務所、事務所~事務所等)									
		6Mインターフェイス									1号機
2号機	0										
10	空中線の外観確認	空中線・取付架台の変形、損傷及び異常な発錆、腐食、塗装の剥離状態等の有無を確認し、部分発錆や塗装の剥離等のある場合は補修塗料で補修する。また、ボルト等のネジの緩みは締め直しを行う。	実施/確認	良・否 等							
11	空中線レドームの確認	接合箇所や塗装状態の確認を行う。	実施/確認	良・否 等							
12	給電線の確認	屋外部は飛来物等による損傷、劣化(風化)状態等を確認し、早期の事故防止を計る。屋内部は支持物の緩み等による変形がないかを確認し、無理のない布設状態を保つ。また、導波管の固定金具からの離脱、金具の緩み、欠落がある場合は、締め直しやクレモナロープ等による縫縛等の応急処置を行う。	実施/確認	良・否 等							

No	確認事項の概要	作業の実施範囲・具体的方法等	判定基準	単位	点検結果						
					今回		対象外	前回		前々回	
					調整前	調整後		調整前	調整後	調整前	調整後
13	導波管接続部の確認	導波管とアンテナ、無線機等各接続部のフランジビスの緩みや欠落がないかを確認し、欠落の場合は補充を行う。また、導波管引込口(接地工事箇所)の確認を行う。	実施/確認	良・否 等							
14	接続部の確認	装置パネル(ユニット)の固定及び接続ケーブル、コネクタ、端子の接続状態を確認する。	実施/確認	良・否 等							
15	機器本体の清掃等	装置への塵やほこり等の付着を除去し、装置内外面の清掃を行う。	実施/確認	良・否 等							
16	図書類・予備品類等の確認	図書類が整理・保管されていること確認する。	実施/確認	良・否 等							
		予備品類の保管状態・数量等を確認する。	実施/確認	良・否 等							
	所見1	点検シート以外の点検結果						所見3	装置銘板(主たる装置)		
								型式			
								製造番号			
								製造年月日			
								製造者			
	所見2	当該装置の技術的所見等									